

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

＜本年度の学力向上基本方針＞

「植竹学習モデル」の推進による「確かな学力」の育成

～ 学習意欲の向上と豊かな学び合いの展開を通して ～

※「植竹学習モデル」… ①既習事項の確認、②課題の設定、③新しい知識・技能の習得、④課題の解決に向けた学び合い、⑤知識の再構成 の学習過程を一連の流れとして示した、本校独自の学習モデル

＜本年度の学力向上策＞

- 1 学習課題の設定と振り返りの充実による、基礎的・基本的な知識・技能の定着
 - (1) 生徒の興味・関心に基づき、具体的でわかりやすい学習課題を設定する。
 - (2) 一時間の授業や単元で学習した内容を生徒自身が振り返ることにより、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る。
 - (3) ワークシートの活用などにより、個に応じた指導の充実を図る。

【目標を理解して授業に参加できている生徒 90%以上】
- 2 「深い学び」の実現を目指した授業改善
 - (1) 学習課題の解決に向けた主体的・対話的な学び合いの場面を積極的に設定する。
 - (2) 思考・表現をする際の視点を明確に提示するとともに、互いの考えを比べたり関連付けたりさせる指導の充実を図る。
 - (3) 学んだ知識や技能を活用して課題に対する答えを考える学習や、理由や根拠を示して論理的に説明する学習を授業に取り入れる。

【他者の考えを聴くことで自分の考えを深められると感じている生徒 95%以上】
- 3 家庭学習の充実と家庭・地域との連携
 - (1) 単元ごとの主な学習課題の例を示したシラバスを配付し、1年間の学習の見通しを持たせる。
 - (2) 本校独自の生活記録ノートを活用し、「できるようになったこと」を記録させることにより、自己肯定感を醸成し、家庭学習を行う意欲を喚起する。
 - (3) 「研究通信」を発行し、家庭・地域に対して積極的に情報を発信することにより、学校課題研究へのご理解・ご協力をいただくとともに、相互の連携を強化する。

【「研究通信」の発行 年間4回以上】

＜本年度の振り返り＞